



基幹相談支援センター開設

障がいのある人の総合的かつ専門的な相談窓口となる「安来市基幹相談支援センター」が、安来地域活動支援センター「ステップ」内に開設されました。同センターでは専門職員を配置し、地域からの相談の拠点として各機関と連携しながら支援していきます。

4月5日にはステップで開設式が行われ、安来市長は「これまでできなかった家庭への直接指導など、地域で安心して暮らすことができるよう支援していきたい」と話しました。



▶支援専門員を4人に増員し体制を充実させていきます。
※同センター ☎23・0357



▶新料理は市内5店舗で3月24日から一般販売されています(要予約)。

安来ドジョウ寿司の発表会

市と観光協会、飲食店、関係機関等で開発を進めてきた新「当地グルメ「安来ドジョウ寿司」」の発表会を3月23日に開催。地元食材を活用した料理を開発し、観光誘客に結び付ける目的で取り組んだものです。

発表会では、料理や食べ方の説明の後、ヒットを祈願してどじょうすくい踊りを披露。その後の試食会では、食材や見た目にこだわった料理の前に、初めて見る参加者は驚きの表情。目で楽しんだ後は、新料理に舌鼓を打っていました。



▶森脇副市長から激励を受ける藤田さん(右)。

地域おこし協力隊員が着任

5人目となる「地域おこし協力隊員」が安来市に着任し、4月3日市長から委嘱を受けました。隊員となるのは神戸市出身の藤田雄斗さん(20歳)。専門学校では、興味のあった水生生産物について学び、在学中には生産組合で職業体験をしたほどのドジョウ好き。ドジョウ振興の業務での隊員募集がありました。

藤田さんは「全国の人にドジョウを知ってもらい、将来は自分でも養殖に挑戦したい」と抱負を語ってくれました。

オーダーメイド貸工場

中山間地域の雇用の場の創出を目的に、市が整備を進めている「オーダーメイド貸工場」に進出企業が決まりました。3月27日には、市と進出する株式会社豊栄工業(愛知県新城市)との間で立地協定書の調印が交わされました。

同工場は、広瀬町下山佐地区に建設予定。企業の要望を反映した工場を市が建設し、企業に貸し付けるものです。企業は初期投資が軽減される一方で、3年間で5人の地元雇用が義務付けられています。



▶精密金属加工や植物由来樹脂製品などを製造・販売している豊栄工業美和社長(右)と近藤市長。